

第3号

広報

三条市消防団



ポンプ操作法県大会で活躍



一斉放水訓練



土のう積み訓練

一月一日に発生しました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

今年度は、昨年五月にコロナウィルス感染症による行動規制が緩和され、以前の活動に戻り、水害対応総合防災訓練、総合演習、各方面隊独自で実施した訓練など多種多様な分野で活動を行うことができました。加えて、八月六日(日)に見附市で開催された、第七回県消防大会において、小型ポンプ操作法の部で出場し、大健闘された嵐北方面隊の選手の皆様、ご協力頂いたご家族様、関係各位に感謝を申し上げます。この大会への参加を期に各方面隊の団結力、精神力、行動力は、より一層向上したように思います。近年の気象変化による局地豪雨等の自然災害の発生が懸念される中、令和六年は新潟地震から六十年、中越地震から二十年の節目の年でもあります。

地域に密着した防災機関の要である消防団への期待は、年々高まっています。地域を守るために、より力強い消防団を構築するためには男女を問わず、若い皆様方の入団が是非とも必要です。未だに感染症も完全終息に至らない中、あの猛暑の季節も過ぎ去り、令和五年度も終わろうとしています。この一年消防団活動にご支援、ご協力賜り、大変有難う御座いました。

今後も引き続き、市民の安全・安心を守るべく消防団活動で技術向上に磨きをかけ、団員一丸となり市民の皆様の期待に応えてまいります。来年度も変わらぬご支援、ご協力を願い申し上げ、ご挨拶に代えさせて頂きます。



三条市消防団長 諸橋一徳
ご挨拶

第七十四回新潟県消防大会に嵐北方面隊が出場！

令和五年八月六日新潟県消防大会ポンプ操法競技会が見附市立西中学校グラウンドで行われました。県央地区を代表して、素晴らしい操法を披露しました！



東分団長
小林 定良

北西分団長
小林 和幸

当初、選手の大半が未経験で基本動作もままならないスタートでしたが、本部職員、訓練部の方々からご指導を頂き、嵐北方面隊一丸となつて訓練を進めることができました。

春には本格的な訓練が始まわり、選手達もまとまり始め、技術が向上していき、大会直前に選手全員が堂々と披露出来るまでに仕上がりました。大会当日の本番では上位入賞は叶いませんでしたが、選手全員悔いなく今までの訓練成果を出し切ったと思います。

これまでご指導ご支援して頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。

大会出場が決まり、選手選出にご尽力された両分団幹部の皆様には御礼申し上げます。

一年間、大会に挑みました。大会では上位入賞は出来ませんでしたが、選手たちの達成感やりきつた感が心に残っています。

最後になりますが、今回の大会出場に関わっていただいた皆様に御礼申し上げます。



防災ステーションでの練習



会場での前日練習

その努力により大会当日は猛暑の中、最高の操法ができました。最後に選手達、サポートして頂いた皆様、本当にありがとうございました。

小型ポンプ操法のサポートとして練習に参加し、選手たちの練習をサポートしました。その中でホース巻きをして感じたことは、単純なように見えますが、一直線に伸ばす為に正確さが求められます。私達サポートもドバイスを素直に受け入れ、それを実践に移す姿勢は素晴らしい熱意と努力に感銘を受けました。

これまでの練習の成果が本大会でもパフォーマンスに繋り、私達サポート自身彼らのサポートができたことを誇りに思います。

東分団第二部
部長 田中 力



集まれ！



操法競技会結団式



アトラクション越後見附太鼓

出場選手・家族

東分団第二部
前山 直人（指揮者）

北西分団第四部
関山 光一（二番員）

東分団副分団長
丸山 実（三番員）

今回指揮者として参加をさせていただきました。長期の訓練は身体的にも精神的にも苦しいものでしたが、本当に多くの方から指導や補助、応援などで支えていただき、何とか本番を迎えることができました。感謝いたします。

本番では、チーム一丸となつて満足のいく操法ができたと思いません。県大会出場を通じ、大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

夏休みに、私はお父さんの消防団の大会を見に行つきました。すごいと思ったことは二つあります。一つ目は練習、二つ目は大会についてです。

消防団の練習がある時、お父さんは仕事から早めに帰つてきて練習を行つて頑張っていました。大会を見に行つた時は、お父さんが、聞いた事のないくらい低くて大きい声を出して頑張っていました。私はその姿にとてもびっくりしました。カッコよかったです。

消防団は、とてもカッコよいと思いました。

団員家族
前山 結衣子



ポンプ操法を開始します！



全力疾走



筒先員交代！



服装点検

今回指揮者として参加をさせていただきました。長期の訓練は身体的にも精神的にも苦しいものでしたが、本当に多くの方から指導や補助、応援などで支えていただき、何とか本番を迎えることができました。感謝いたします。

本番では、チーム一丸となつて満足のいく操法ができたと思いません。県大会出場を通じ、大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

夏休みに、私はお父さんの消防団の大会を見に行つきました。すごいと思ったことは二つあります。一つ目は練習、二つ目は大会についてです。

消防団の練習がある時、お父さんは仕事から早めに帰つてきて練習を行つて頑張っていました。大会を見に行つた時は、お父さんが、聞いた事のないくらい低くて大きい声を出して頑張っていました。私はその姿にとてもびっくりしました。カッコよかったです。

消防団は、とてもカッコよいと思いました。

平日週二回、土曜日曜と練習しサポートの皆様の協力で、競技会当日まで毎週みんなで練習したのが、もう終わってしまったという感覚です。この間までの練習が無くなつたギャップに、今はボランティ何かが抜けた感じです。

長期間サポートしてくれた皆様と練習に送り出してくれた家族に感謝します！今後も消防活動に励み少しでも貢献できたらと思います。



火点に命中！

北西分団第四部
齋藤 朱里（二番員）

四年ぶりに開催された新潟県消防大会小型ポンプ操法の部で、三番員として出場しました。

大会を通じて大変だった事は、長期間の練習、素早く正確な動作、出来ない事のいら立ちなど、五十過ぎた自分には心身ともに堪えました。

その甲斐あって、本大会では、緊張せず練習の成果が出せた良い操法だったと思います。また、この大会で嵐北方面隊の交流が深められた事が一番の成果だと思います。

最後に、今大会に関わった皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

結果は入賞できませんでしたが、今まで一番のパフォーマンスをする事ができました。今まで支えて下さった方々、本当に支えられ最後までやりきることができました。

長期間渡る訓練は何度も嫌になる時がありましたが、周りの方々に支えられ最後までやりきることができました。

今まで支えて下さった方々、本当に支えられ最後までやりきることができました。

消防大会小型ポンプ操法競技会を十四位という結果で終えました。これはご期待いただいた結果ではあります。

一年の十月よりこれまでの間、ご指導いただいた皆さん、サポートしていただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

北西分団第三部
湯本 福数（補助員）



おさめー！

水害に備えて

防災訓練を実施

三条市消防団は、三条市水害対応マニュアルに基づいた水害対応総合防災訓練を六月十八日に行つた。



として行われ、嵐北・嵐南の各方面隊が一堂に会し、学生消防隊とも連携して三種の水防工法の訓練を行い、視察に訪れた三条市長から激励を受けた。

事前に想定していて団員達の意志疎通が取れている為、次の指示を受ける動きが分かりスムーズに対応が取れていたと思います。ですが、実際に水害が起きてしまった場合は何が起きたか分かりません。

いかに早く情報を受け取り、水害に対して対応出来るのは時間との勝負になります。訓練の為に活動するのではなく実際に水害が起きてしまった時の事を想定していくと思います。

総合防災訓練について 井栗大崎方面隊訓練部長 高野 正樹

行う事が大切になつてい
るので、その事を十分理解し
て訓練に臨んで行こうと思
います。

三条市水害対応 総合防災訓練



を学んだが、それだけでなく自身の防災に関する意識も高まつたので参加の意義は大きかったと思う。

防災意識を高める
学生消防隊 大橋 琳之介

共に学ぶ防災訓練

ました。学生消防隊や地域住民の方々と一緒に五十名程で土嚢作りを地道に継続三段に積み重ねた土嚢袋は最終的に長さ八mくらいになつたと思います。今回は予め作業しやすい環境で人數も大勢いました。しかしいざ実際の場合を考えるとこんなスイスイと土嚢積を作ることはなかなか難しいだろうとの気付きもありました。だからこそ今後の万が一に備え、これからも精進をしていきます。

訓練に参加して
大島分団第二部 田巻 蒼人
水防訓練で行つた土嚢工
は、自分にとつて初めての
経験であると同時に、想像
以上に体力を消耗するもの
でした。

日々の生活から体力作り
に付いて改めて意識をする
良い機会となりました。

日頃から防災意識を高め、
有事の際には今回学んだ事
を活かし、地域住民の方の
安全を守る活動に努めたい
と思います。

総合防災訓練参加より
南分団第五部部長

清水
崇男

訓練に参加して
大島分団第二部 田巻 蒼人

三条市消防団総合演習

令和五年十月一日(日)

消防団幹部研修視察

令和五年十月十三日(金)～十四日(土)

消防団協力事業所
登録募集！



広報三条市消防団

新型コロナウイルス感染症の

蔓延を受け、過去三年間は自粛

を余儀なくされた三条市消防団

総合演習。春に五類感染症へ移

行となり規制の緩和に伴い、感

染対策に留意しながら四年振り

に開催できるものと計画・準備

してきましたが、当日はあいに

くの雨模様。残念ながら式典に

よる永年勤続表彰・無火災表彰

だけとなってしまいました。

栄方面隊 副方面隊長
村山 喜隆

この度、十五年表彰をいただき
き大変ありがとうございます。

二十四歳の時、自ら志願し消
防団へ入団しました。家業を繼
ぐために地元へ戻ってきた際、
楽しそうに地域の祭りを手伝つ
ていた消防団の方に出会い、
そう(笑)この思いだけでした。

それから十五年の間には、火
事、水害、地震、行方不明者の
捜索など様々な経験をし、いつ
の間にか私自身も「地域のため
に」と行動していました。

今日まで私が消防団員として
活動するにあたり関わって頂い
た諸先輩・団員の方々、地域の
方々、そしてなにより家族に感謝
しています。本当にありがと
うございました。



この研修視察も総合演習と同
様四年振りとなりました。

今回は東日本大震災から十二
年経ち今なお復興途中の福島県
双葉町・浪江町など福島原発付
近の原子力災害伝承館や、津波
で甚大な被害のあつた宮城県石
巻市・女川町の震災遺構を見学
させていただきました。

福島の伝承館では、津波の猛
威で原型がわからぬほどクシャ
クシャになつた小型積載車や、

宮城の震災遺構では、翌日に卒
業式を控えていたにもかかわら
ず、地震による火事のまま津波
に流ってきた家が衝突し、建
物内部が全焼して外壁もボロボ
ロになつた校舎を見て、多くの

方の犠牲や生活を変えてしまつ
たあの震災のすごさを改めて感
じずにはいられませんでした。

消防団員として今後の啓発活
動に役立ててまいります。

現在三条市内、十二事業所が
登録しています。

・株コロナ ・株ナガオケ
・株外山組 ・石川工務店
・株井関新潟製造所

・株小林設計事務所
・株中央建設 ・株イグリ
・株吉田組 ・株木菱建設
・土田土建 ・株金子組

お問い合わせ

三条市消防本部総務課

八三四・一一一



消防団員のサラリーマン化が
進み、消防団員の確保及び活動
環境の整備をするうえで事業所
等との協力体制の構築を図り、

地域における消防・防災体制の
充実強化を目的として、総務省
消防庁が実施しています。公の
責任を果たしている証として、
市町村が表示証を交付する制度
です。

令和6年三条市出初式



令和六年三条市出初め式は、元日に発生した能登半島地震の影響によりパレード・一斉放水が中止となりました。

代わりに、諸橋一徳消防団長から幹部に対して訓示を頂きました。

午後からは、各方面隊で

出初式を行い、長年消防団業務に尽力された方々への表彰や、長期間無火災だった地域の分団が報償されました。

島方面隊の川勝清貴副方面隊長は、「能登半島地震が発生し、三条市も震度五強を観測するなど各地で被害が発生しました。こうした災害の時こそ、消防団の役割が重要だと思いますの

ま、神社へ無火災祈願説明を行なった所や、来賓参拝を行なった所など様々の方々に新装備品の紹介や

また、神社へ無火災祈願説明を行なった所など様々の方々に新装備品の紹介や



出初め式に参加した、大

能登半島地震

令和六年一月一日十六時

十分、石川県能登半島にてマグニチュード七・六、最大震度七の地震が発生しました。

三条市では、広い範囲で停電が発生し、ガス漏れが多発するなどの被害がありました。

また、神社やお寺の灯籠が倒壊し、外壁が剥がれるなどの深刻な被害もありました。



さいの神祭り

令和六年一月十四日午後二時、西鰐田小学校にて小正月行事の「さいの神祭り」が行われました。

全校児童や保護者、地元住民と共に三条市消防団本成寺分団の団員が参加し、大小四基の「さいの神の塔」を作成しました。

十時頃、加茂市加茂新田地内にて交通事故がありまし

た。その後、運転手を救助した井栗大崎方面隊大崎分団第四部の佐藤昌宏団員が加茂地域消防本部から表彰されました。

その際、運転手を救助して良かったという事が第

一。自分も過去に事故に遭ったとき、周りの人に助けてもらったので、お互い様がりが増す、とても良い機会になつたと実感しております。今後も、地域防災力の向上に貢献するべく、邁進していきます。」と行事参加を喜んでいました。

本人曰く「男性が助かっ

て良かった」というのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬時に駆け付け人命救助を行う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

時に駆け付け人命救助を行

う姿は消防団員の鑑であり

我々も見習つて行きたいも

のです。

その後、運転手を救助して

良かったとい

うのが第

一。

自分も過去に事故に遭

ったとき、周りの人に助け

てもらったので、お互い様

です。」と謙虚に語つてくれました。

突然の交通事故に、瞬

防火チラシが出来上がりました。

毎年、春の火災予防運動期間に、皆様のお宅に配布

している防火チラシのイラストについて、市内全小学校の

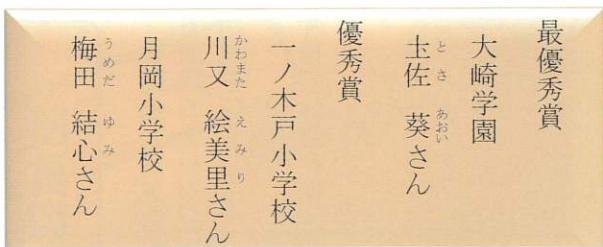
四年生に考案をお願いしたところ、三百九十一点の作品

が寄せられました。

その中から、消防団長及び消防団予防部で選考を行つた結果、大崎学園の土佐 葵さんのイラストに

決定いたしました。

とても素晴らしいイラストを考えいただき、ありがとうございました。このチラシを見やすい場所に貼り、火の用心に心掛けていただきたいと思います。



女性消防隊の活動

女性消防隊隊長 桑原 姫子



六月の水害対応総合防災訓練で、自治会と協力しながら中学生と地域の皆さんと日頃の防災についてを共有しました。定期救急講習会のお手伝いをし、今年度新たに二名が救急講習の資格を取得出来ました。十月の消防団総合演習は雨で式典のみの開催でしたが、新入団員がアナウンス等頑張ってくれました。また、栄方面隊ご協力のもと栄ふるさと祭りで子供達向けの防火衣と初期消火を体験してもらい多くのご家族から喜んで頂きました。

他にもイオン三条店で消防フェスタ・東別院で三条マルシェと、より多くの市民の皆さんと触れ合う事で活動の励みになっています。

十一月は長沢分団の救急講習会もあり私達のスキルアップも重要課題であります。

現在団員は十七人、団員を募集しています。

どなたでも参加できる楽しい活動を目指しています。

モバイルバッテリーの事故に

注意しましょう！

モバイルバッテリーはスマートフォンやタブレット等を充電できる予備の電源として、使用している方も多いのですが、ないでしょうか？

実は危険が多くありますので注意が必要です。

モバイルバッテリーは頑丈そうに見えますが、衝撃にも熱にも弱いといった特徴があるため、乱暴に扱つたり、落として衝撃を与えたり夏場の車の中など温度が高くなる箇所で保存していると膨張し発火してしまうことがあります。

安易に不燃ごみなどで捨ててしまうとゴミ処理ステーションでの火災の原因となります。

経年劣化ですぐ熱くなったり、なかなか充電されないといったモバイルバッテリーは使用の中止することをおすすめします。

劣化したモバイルバッテリーは三条市の自治体などで回収はおこなつております。

しかし面倒だからと放置していると危険なので、最寄りのホームセンターや家電量販店の回収を利用してください。



団員紹介

全団員九六五名の中から、各方面隊のフレッシュな八名の団員を紹介します。

今後の活躍を期待します！



女性消防隊
石塚 泰子

右も左もわからずご迷惑をお掛けするかと思いますが、地域貢献できるよう努めます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



令和五年度より入団しました。先輩方を手本とし、地域の安全を守るために頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

学生消防隊
真壁 拓未

一年間活動を通じて、様々なことを得られました。特に応急手当講習が印象にあり、知つていれば、日常生活にもいかせて行ける、かなり身に入つた内容であったと思ひます。今後においても様々な経験を積み、地域に貢献していきたいと思います。



下田方面隊
長沢分団第6部
外山 新弥

入団以前は先輩方の勇ましい様子についていけるか不安でした。しかし入ってみると団内の雰囲気は明るく、先輩方に一から丁寧に教えていただけてとてもありがたかったです。私も地域に貢献できるよう努めています。



栄方面隊
大面分団第3部
白鳥 直来

令和五年度より入団しました。至らぬところも多々あると思いますが、諸先輩方からご指導いただきながら地域のため、できる事をしていきたいと存ります。



嵐南方面隊
本成寺分団第6部
熊谷 速人

先輩方が活躍されている姿を見て、自分も地域のために貢献できればと思う、入団させていただきました。微力ではありますが、地域のため頑張つていこうと思います。



井栗方面隊
井栗分団第5部
堀内 淳也

三条市内に居住、または勤務・通学されている方で、十八才以上の方ならどなたでもお待ちしております。ご興味のある方は、お住まいの地区の消防団員又は消防本部までお問い合わせ下さい。
三四一一一一（消防本部）

団員募集中

入団して三年弱と、若輩者ですが、地域住民の方々の安心安全を守る為、日々努力を積み重ねております。一生懸命務めさせて頂きたいと思っております。



大島方面隊
大島分団第1部
堀川 倫生

前年度の編集委員長に引き続き、消防団の活動、訓練等を地域住民の皆様方にご理解、ご協力いただけます。またこれからは消防団の自主防災組織が密接な連携体制をとることが、地域の防災力の向上につながることと思いまます。また広報紙が作成できたと思っています。

・ 広報紙編集委員・	
内山元雄（編集委員長）	原稿をお寄せください
田巻博和（副編集委員長）	た皆様方、ご協力いただき誠にありがとうございます
編集委員長	いた。無事に第三号を発行することができました
内 山 元 雄	前年度の編集委員長に引き続き、消防団の活動、訓練等を地域住民の皆様方にご理解、ご協力いただけます。また広報紙が作成できたと思っています

編集後記